

上越新幹線 E 1 系のバリアフリー設備の覚え書き

(2 0 1 4 年 3 月作成)

©作成・半沢一宣 (はんざわ・かずのり)

* 2 0 1 2 年 9 月 2 8 日限りで営業運転を終了した車両の記録です。

E 1 系は主に通勤時間帯の混雑緩和 (座席数の確保・輸送力増強) を目的として全車 2 階建てで登場し、1 9 9 4 年 7 月 1 5 日から営業運転を開始した車両です。

当初は東北新幹線でも使われていましたが、後に上越新幹線専用となり、2 0 1 2 年に引退しました。

車いす対応座席 (次ページの配置図で「H」と標記)

普通車では 6 号車の 1 7 番 A B 席 (赤城山側) が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

グリーン車では 8 号車の 2 1 番 D 席 (榛名山側) が車いす対応座席です (同伴者用席は無し)。

多目的室 (次ページの配置図で「M」と標記)

8 号車の東京寄り (赤城山側) にありますが改良型ハンドル式電動車いすには対応していません。

車いす対応トイレ (次ページの配置図で「B」と標記)

5 号車の新潟寄りと 8 号車の東京寄りにベビーベッド (おむつ交換台) とベビーチェアを併設した多機能トイレがあります。

洗面所

5 号車の新潟寄りと 8 号車の東京寄りに車いす対応構造のものがありません。

公衆電話 (次ページの配置図で「P」と標記)

7 号車の東京寄りにありますが車いす対応構造ではありません。

飲料自動販売機

2 0 0 8 年 3 月 3 1 日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

受動喫煙の発生状況

2 0 0 7 年 3 月 1 8 日から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2 0 0 7 年 9 月 3 0 日 (日曜日) 新潟 6 時 2 7 分発東京ゆき「MAX とき 3 0 2 号」

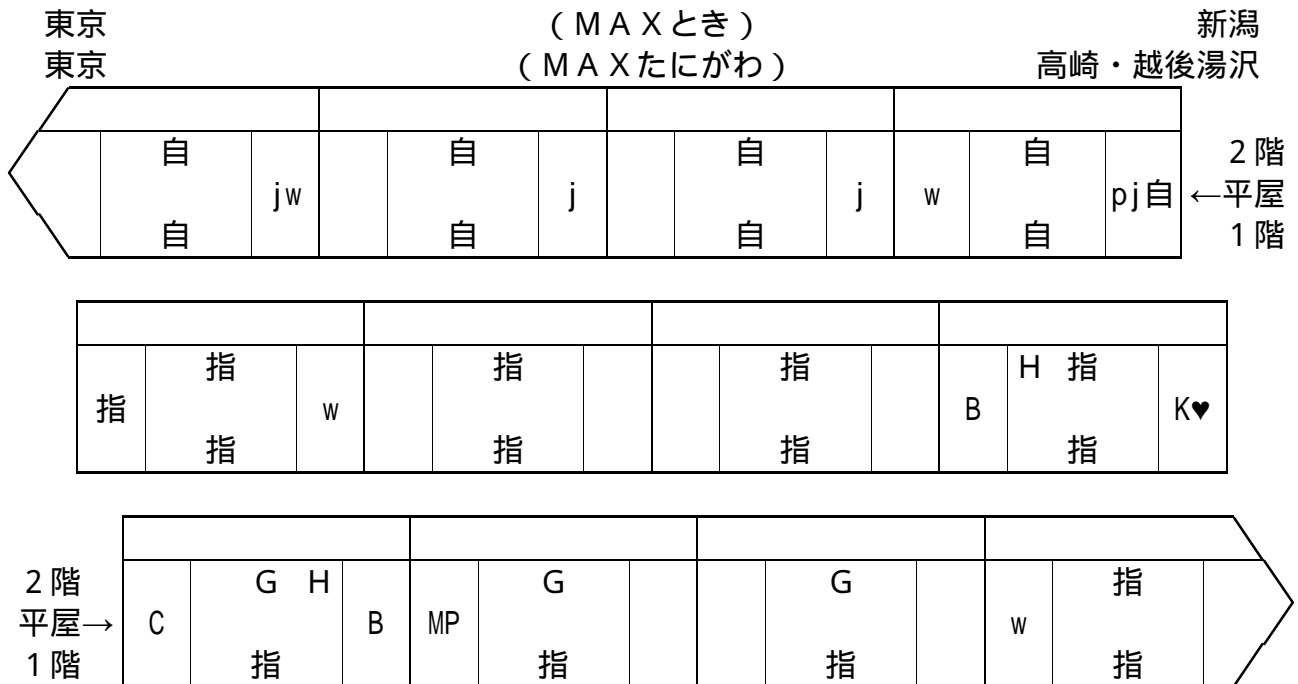
車両番号・8 号車 = E 1 5 8 - 2 0 6、9 号車 = E 1 4 8 - 6

(M 6 編成、1 9 9 5 年・川崎重工 & 日立製、

2 0 0 4 年に新潟新幹線車両センターでリニューアル改造を実施)

次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

E 1 系の車内設備の配置図



凡例

- 指 = 普通車指定席 自 = 普通車自由席 G = グリーン車
- j = ジャンプシート (折りたたみ式の補助席)
- H = 車いす対応座席 M = 多目的室
- B = 車いす対応多機能トイレ (ベビーベッド有、オストメイト用設備は無)
- w = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド無)
- P = 公衆電話 (車いす対応) p = 公衆電話 (車いす非対応)
- C = 車掌室 K = 売店
- = A E D (自動体外式除細動器)

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



E 1 系



E 1 系の車体側面のロゴ
トキのイラストは E 1 系が上越新幹線専用
になってから追加された



E 1 系 8 号 車 (普 通 車) の
車いす対応座席



E 1 系 9 号 車 (グ リ ー ン 車) の
車いす対応座席



E 1 系 8 号 車 の 車いす昇降装置を
デッキから見たところ



E 1 系 8 号 車 の 車いす昇降装置を
2 階客室から見たところ



E 1系 10号車の多目的室の外観
窓ガラスには「業務用」との不適切な表示
（内部は未撮影）



E 1系 4号車の公衆電話（車いす非対応）
手前の壁にはジャンプシート
（跳ね上げ式補助席）が2席見える



E 1系 9号車の多機能トイレ



E 4系 9号車の洗面所（車いす非対応）



E 4 系 8 号車の売店



E 1 系 4 号車の自販機
階段が多くワゴンでの販売が困難なため
当初は弁当類も自販機で販売していたが
後に飲料のみの販売となった



E 1 系 4 号車のパウダールーム (女性専用更衣室)
おむつ交換台 (写真左) や洗面台 (写真右) も設置されていた